



<h1>NO. 28</h1>	<h1>焼きマシュマロ</h1>
-----------------	------------------

1 ねらい

- ・火を囲みながらマシュマロを焼いて食べる活動を通して、仲間との親睦を深め、野外活動の楽しさを味わう。

2 活動の計画

(1) 活動期間	4月～11月	
(2) 所要時間	1～1.5時間	
(3) 活動場所	外かまど, 野外炊事場A棟, 野外炊事場B棟, キャンプファイヤー場	
(4) 準備物	〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
	・マシュマロ：有料（様式8参照） ・薪：有料（様式7参照）	・くし（一人1本） ・軍手 ・マッチ ・新聞紙 ・ゴミ袋 ・焚きつけ ^{*1}

※1 手斧（チョウナ）を使って薪割りをしない場合には、焚きつけが必要です。

3 活動について

- ・火おこしやボンファイヤー等の火を使う活動と組み合わせて行うこともできます。
- ・マシュマロの注文は1週間前までに申し込みます。当日の申込みはできません。
- ・注文したマシュマロは、まとめて引率者にお渡しします。
- ・炊事場の備品（十能、ほうき、火ばさみ、ちりとり）は、野外炊事棟にあるものを自由に使用できます。使用後は所定の場所に返却します。
- ・食材を持参して行いたい場合には、事前に市民キャンプ場を予約します。

4 展開例

区分	内容
準備・説明 (10分)	(1) 活動の方法・手順について説明を聞きます (2) 薪割りをを行い、かまどの火をおこします
活動 (30分)	(1) くしにマシュマロをさして、マシュマロを炎にかざします (2) 温かいうちに食べます
まとめ・片付け (10分)	(1) かまどの灰を片付けます (2) 感想発表をします

5 活動上の留意点

- ・活動中は走らないでください。また、坂は階段を通ってください。
- ・くしの先にマシュマロを指しておき火で焼きます。火傷をしないよう30～40cm程度の長さのくしが安心です。火を扱う場面では軍手を使用し、火傷に注意してください。
- ・薪割りなど安全への配慮をします。薪は、焚きつけ用の分だけを割ります。すべてを割る必要はありません。